

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	飯田下伊那の猫の殺処分ゼロをめざして 人と猫が幸せに共生できる街づくり事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 猫110番かぎしっぽ
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	663,492 円 (うち支援金: 460,000 円)

事業内容

飯田下伊那地域は、猫の殺処分数が県一多いという現状が長年続いているなか、市民への現状の周知や理解が乏しく、支援や協力も得られていなかった為、この問題を解決へと導いていけるよう、保護猫活動からの環境問題を含めた周知を図る啓発イベント、チラシ作製を実施。

- ・保護猫啓発活動 飯田動物園6月、イオン飯田10月、かごこし子どもの森公園9月、環境メッセ11月、結いスクエア12月
- ・活動の内容、相談対応連絡先を掲載したチラシの作成
- ・周知イベント「にゃんにゃんフェス2022」開催



【飯田動物園での講演】

【目標・ねらい】

- ①啓発チラシの配布、配置を今後増やす
- ②保護猫活動の周知（TNR、譲渡数の増加と住民への啓発）
- ③猫の殺処分ゼロをめざす

事業効果

- ①支援金を活用して制作したチラシ効果により、今まで猫に関する困りごとに対応してよいか分からなかった住民への相談の選択肢としてわかるよう、協力施設、店舗、役場等に設置、配布してもらうことができた。
- ②イベントでの啓発活動に於いて住民への周知と理解を深めることで、猫の不妊去勢手術数が増加し、市の助成金額も増額となるなど、猫の過剰繁殖問題としての理解への広がりや少しづつ実感している。
- ③県でワースト1殺処分が多い現状を周知していくなかで、飼い方の相談、終生飼育の徹底、遺棄をしないことなどの啓蒙活動を行うことでメディアにも取り上げられている事もあり、目にする耳にするなどの声も聞かれるようになった。また、収容されている保護猫を家族に迎えてもらえるよう、保健所でも譲渡会を定期的に開催12月3日の土日、案内のチラシの周知拡散の協力を市役所環境課、役場、店舗、SNSなどをお願いできるようになった。

※自己評価【 A 】

【理由】

市の動物園での周知イベントを行った事から、様々な意識の向上がおき、メディアでも取り上げられたり、市の環境課とも協働での取組や猫の不妊去勢手術の費用を主に充てる為のクラウドファンディングを行政が10月から開始し、猫の不妊去勢手術の補助金の額も11月より増額となるなど大きな効果を得られることができた。

今後の取り組み

毎月、移動式手術車で来飯される獣医師の先生と協働でTNRに取り組み、定期的にイベントに参加することで猫に関わる困りごとでの相談会を実施、飼い方の指導から不幸な命を増やさない為の手術の取組を周知していきたい。2月23日には、飯田市環境課主催の元、協働で取組んでいる獣医師の先生による講演会も初開催となり（丘の上結いスクエア 飯田公民館）各地区の公民館の環境衛生役員、下伊那の環境課関係者にも聴講を呼びかけまずは知識の共有と理解を深めていけるよう、今後も行政と連携を取りながら、活動を継続していきたい。

県で一番に多い猫の殺処分をなくせるよう保護猫活動への支援協力を引き続き、啓発活動を続けていくと共に、命の大切さを子供たちに伝えていく啓蒙活動、そして今後も保護猫活動が引き継がれていけるよう、人材育成にも取り組んでいきたい。